

## 平田賢郎先生、慶應義塾大学医学部内科学教室同窓会賞 2018 を受賞

内科学領域において顕著な業績を上げ、今後も慶應医学で中心的な役割を果たすことが期待される若手研究者 2 名（臨床研究分野、基礎研究分野、各 1 名）を毎年顕彰する目的で今年度から創設されました慶應義塾大学医学部内科学教室同窓会賞の臨床研究分野松木康夫賞を平田賢郎先生が受賞されました。本賞は伝統ある慶應義塾大学内科学教室における同窓会の冠賞であり、大変おめでたいことです。同君の益々の発展が期待されます。

文責：正岡建洋

### 平田賢郎先生受賞挨拶

この度は慶應義塾大学医学部内科学教室同窓会賞 2018 臨床研究分野 松木康夫賞の栄誉を賜りまして、誠に光栄に存じます。

咽喉におけるメラノーシスの観察の食道癌などの上気道消化管の悪性腫瘍の予測における有用性につきまして報告させていただきました(Hirata K et al. *Cancer Sci.* 108(5):1058-1064, 2017)。これまで報告のある flushing の有無や MCV などのリスク因子との組み合わせにおいて、さらに高い精度での予測が可能となることも示すこともできました。

臨床研究を取り巻く環境は、本年 4 月より施行されました新臨床研究法に伴い、非常にハードルの高いものとなってきております。慶應義塾大学には臨床研究中核病院として、新たなオリジナリティの高い臨床研究を創出し、さらに大学病院という特質を生かした基礎研究とのコラボレーション、橋渡し研究を推進していくという使命がございます。今後も慶應発の研究を企画・立案・遂行させて参る所存でございますので、引き続き、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

